

伊予市 じんけん教育

一人ひとりの人権が尊重される、
明るい伊予市をめざして



2018
No. 27

■編集・発行 伊予市教育委員会
愛媛県人権教育協議会伊予市支部
〒799-3113 伊予市米湊820番地
TEL.089-982-5155 FAX.089-982-5156

人権問題に関する市民意識調査結果を特集します!

人権意識の向上は、「一人の百歩より百人の一步」と言われます。市民意識の現状から、様々な人権問題に苦しむ人の存在や人権意識の見直しの必要性を知っていただき、私たち市民一人ひとりが、その解決に向けて正しい理解と行動が取れるように人権意識の向上をめざしていく一助としたいと思います。

人権問題に関する市民意識調査

※詳細は伊予市ホームページをご覧ください

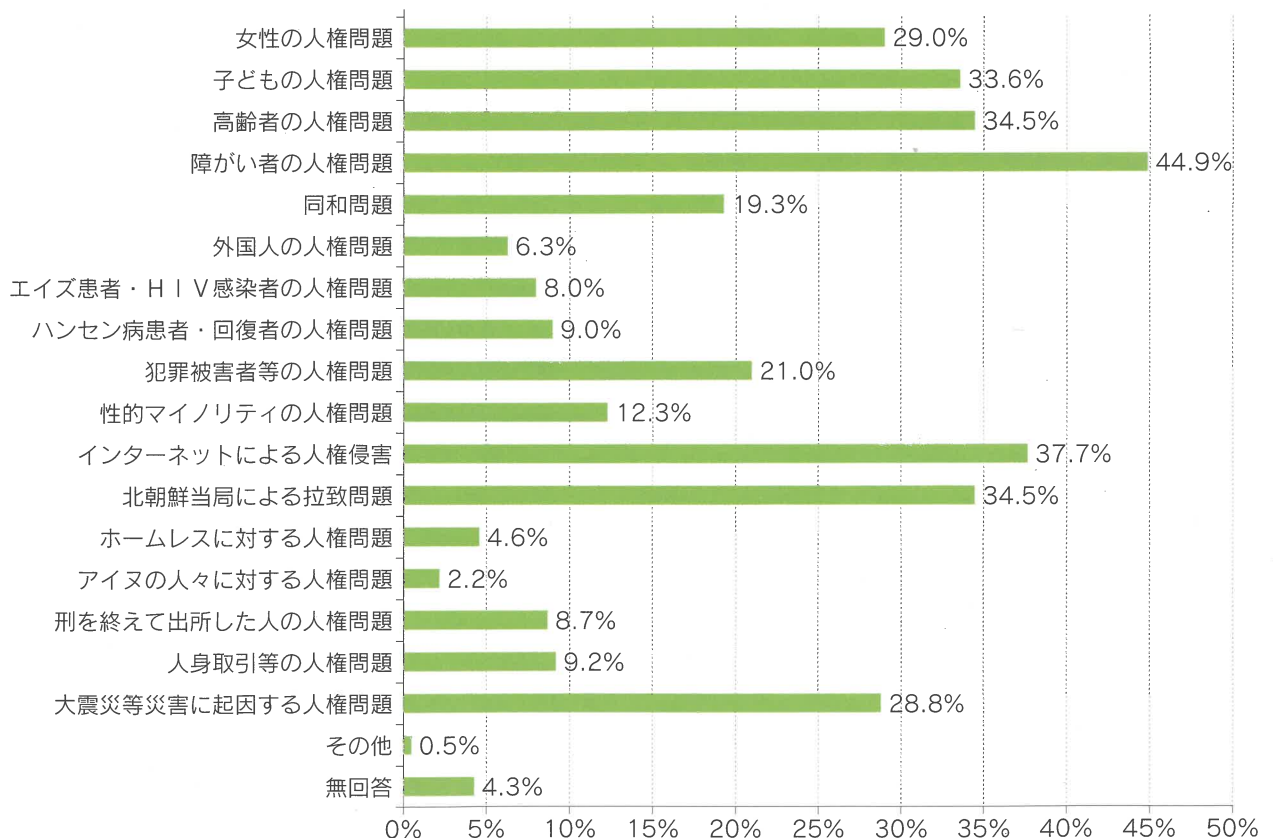
- 1 実施期間 平成 29 年 10 月 20 日（金）～ 10 月 30 日（月）
- 2 調査対象 伊予市内に在住する 20 歳以上の成人〔平成 29 年 6 月 1 日現在〕 1,500 人
- 3 調査方法 無作為抽出による無記名・郵送アンケート調査
- 4 回収状況

区分	発送数	回収標本数	宛先不明等返送数	有効回収率
人数	1,500 人	586 人	9 人	39.3%

5 調査結果（抜粋）

問3

現在、日本には人権に関わるいろいろな問題があり、その解決に向けてさまざまな取組がなされています。あなたが関心のある人権問題の番号に○を付けてください。（複数回答）



人権問題に関心をもっている人が一定数います。どれも解決すべき重要な人権問題です。

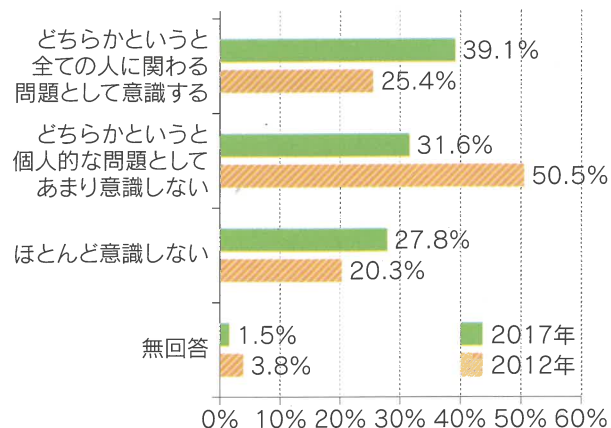
問4 日常生活において、あなたは「人権」について意識することがありますか。あてはまるものを1つ選び、○を付けてください。

人権について、意識する人が増加しています。反面、意識しない人も増加しています。様々な人権問題に対して、無関心ではなく、自分のこととして向き合う意識が大切です。

基本的人権とは？

人間が人間らしい生活をするうえで、生まれながらにしてもっている権利

日本国憲法では、基本的人権は人類の**多年にわたる自由獲得の努力の成果**によって確立されたものであり、**侵すことのできない永久の権利**として保障しています。

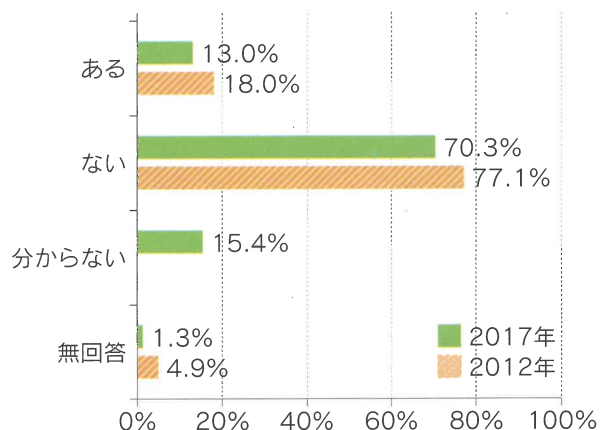


問5 あなたは、最近自分自身の人権が侵害されたと思ったことがありますか。あてはまるものを1つ選び、○を付けてください。

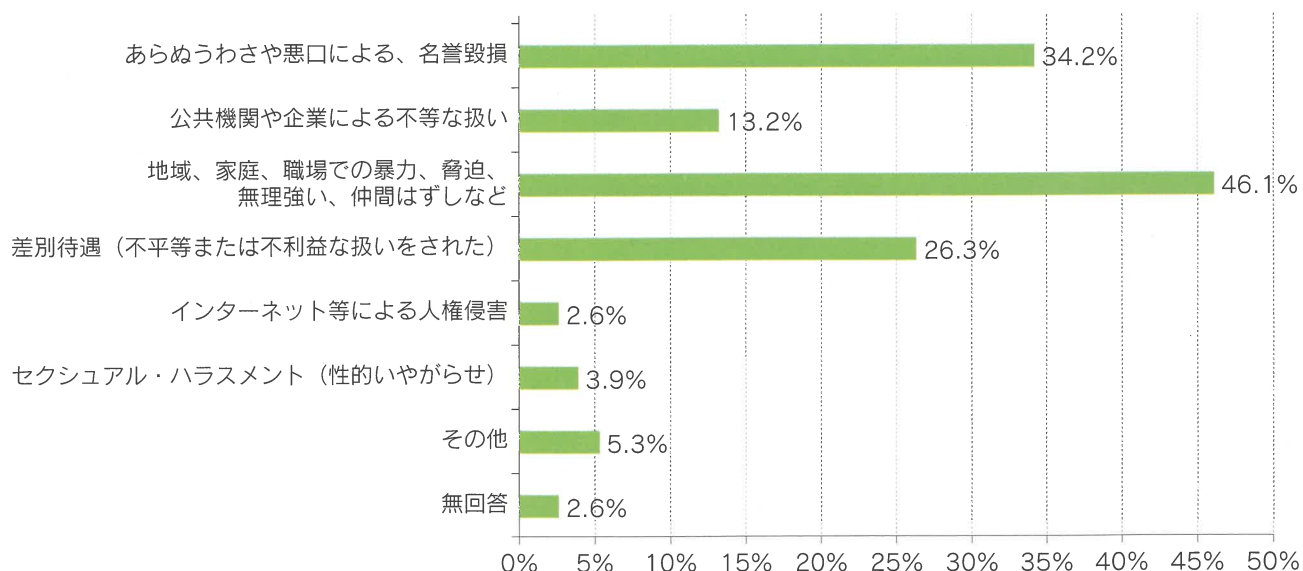
人権が侵害されたという人が13.0%います。差別解消への取組が必要です。

日本国憲法 第14条

すべて国民は、**法の下に平等**であって、**人種、信条、性別、社会的身分または門地**により、政治的、経済的又は社会的関係において**差別されない**。

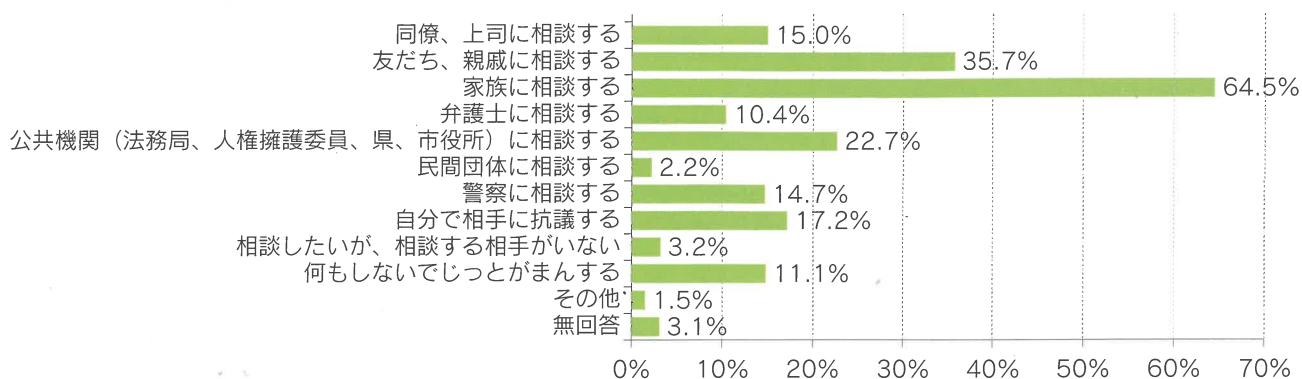


問6 問5で「ある」と答えた方にお聞きします。それはどのような侵害だったか、あてはまるものを選び、○を付けてください。(複数回答)



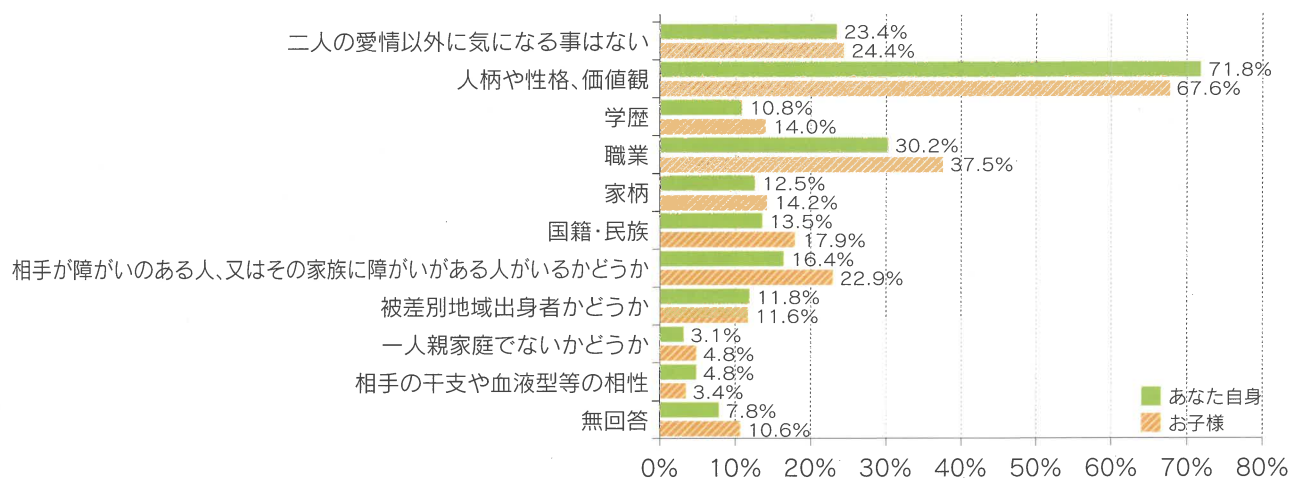
名誉毀損や地域、家庭、職場での暴力等の割合が高いです。特に、差別待遇は前回調査より急増しています（7.2% → 26.3%）。生活や仕事上のプライバシーに関わるトラブルの中で、人権侵害を感じる傾向がみられます。

問7 あなたは、自分の人権が侵害されたと思った場合にどうしますか。あてはまるものに○を付けてください。(複数回答)



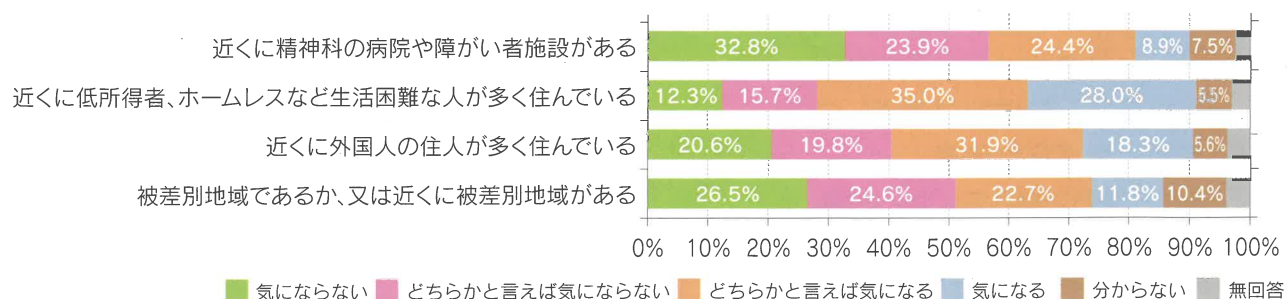
家族や友達、親戚等に相談する割合が高くなっています。家族や友達のほか、同僚や上司、公共機関、警察等、誰かに相談したり助けを求めたりすることは、解決への道につながります。

問8 結婚相手を考えるときに、気になること（なったこと）はどんなことですか。あなた自身の結婚の場合と、お子様の結婚の場合とに分け、気になる項目の番号に○を付けてください。お子様がいらっしゃる方も、いると想定してお答えください。(複数回答)



結婚相手について、人柄や性格等を気にする人が圧倒的に多く、人権意識の高い人が一定数います。「学歴」～「相手の干支等」までの偏見・差別につながる項目を選択する人がおり、課題もあります。

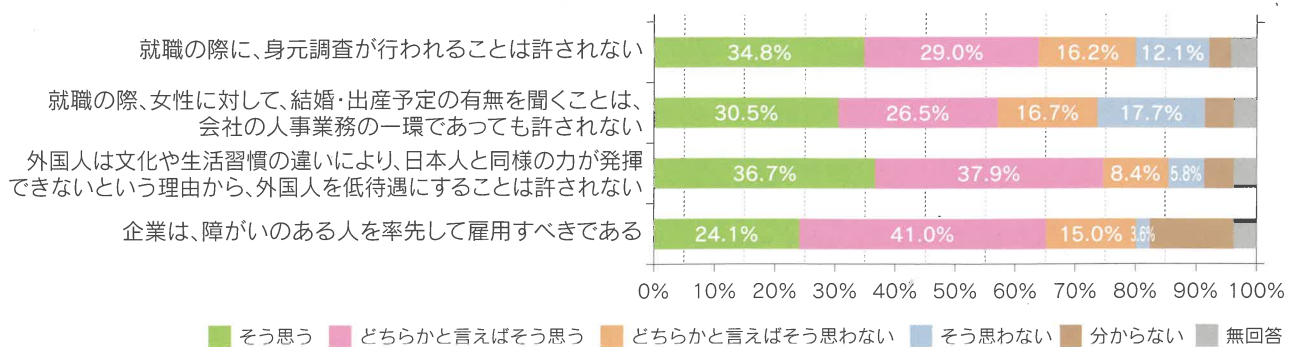
問9 家やマンション等を購入したり、借りたりする場合、あなたは次のことをどのように思いますか。あてはまる番号に○を付けてください。



自宅周辺の環境について、特別な見方や考え方をすることが存在することは、大きな課題です。人権問題への正しい理解と、様々な立場の人を尊重しようとする人権意識の向上が必要です。

問10

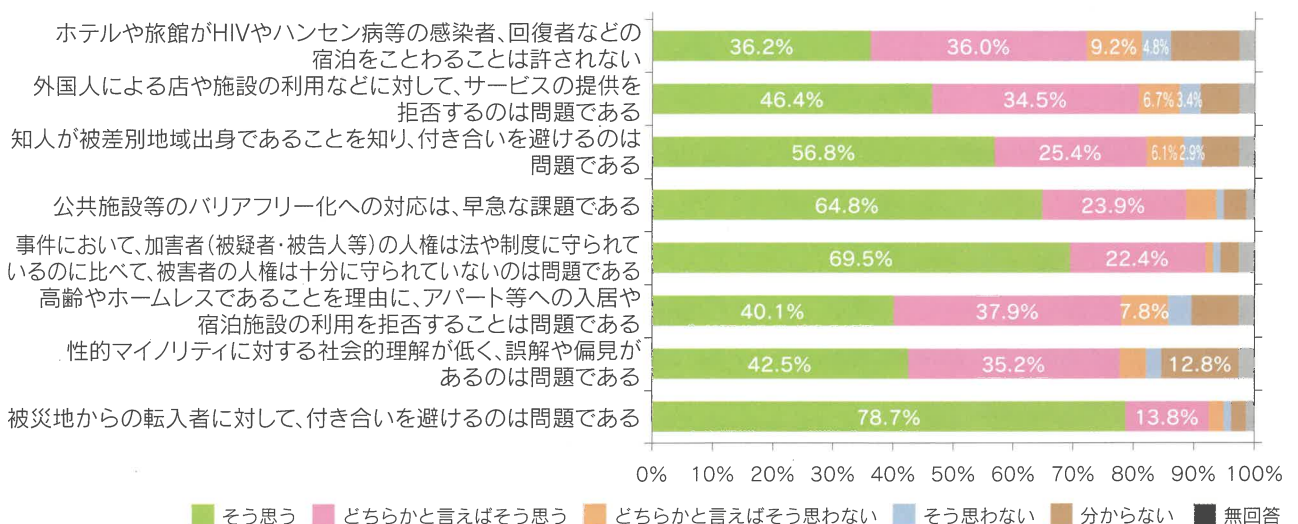
就職においての次のような意見に対し、あなたはどのように思いますか。あてはまる番号に○を付けてください。(代表的な項目のみ値表示)



身元調査お断り運動により、市民の身元調査禁止の意識は高くなっています。就職差別解消に向けて、上のどの項目も大切であるという正しい理解が必要です。

問13

社会生活においての次のような意見に、あなたはどのように思いますか。あてはまる番号に○を付けてください。(代表的な項目のみ値表示)



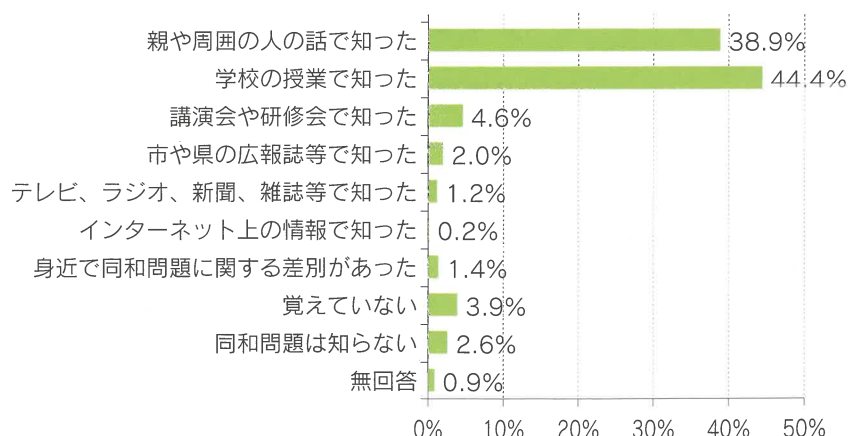
出身地によって付き合いを避ける差別について、思わない、どちらかと言えば思わないと差別を肯定する意見(9.0%)は少数です。市民の同和問題への正しい理解が着実に広まってきています。別の分析では、若い世代に比べ50歳代以上の年代の差別肯定派の割合が高くなる傾向が見られます。今後も社会的に弱い立場の少数者に対する偏見・差別をなくす取組が必要です。

問14

あなたが同和問題について初めて知ったきっかけは何ですか。あてはまるものを1つ選び、○を付けてください。

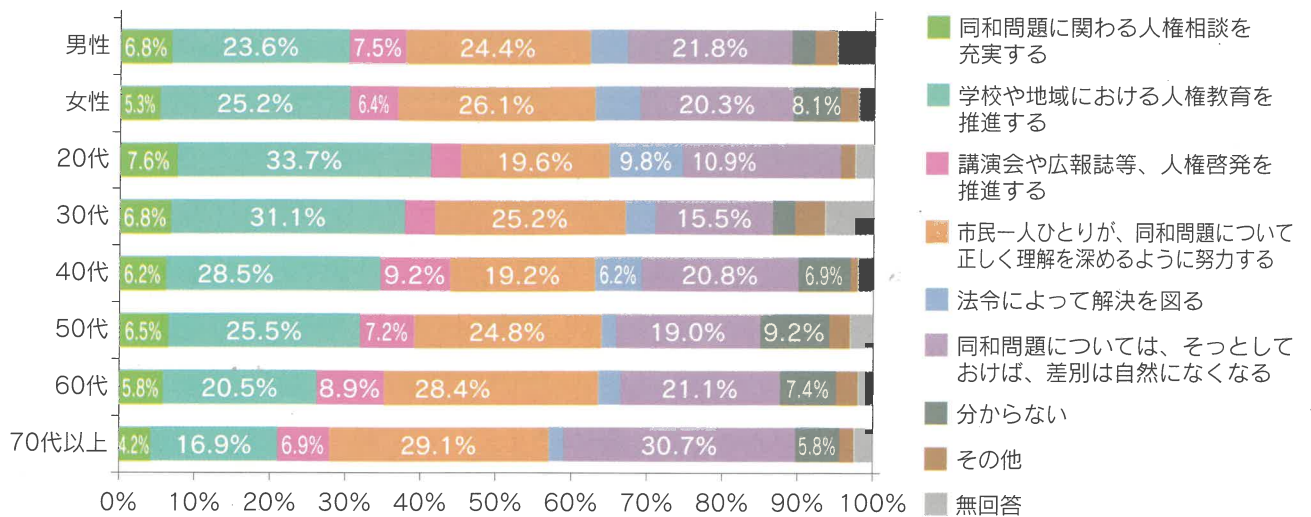
学校の授業で知った割合が高く、いわれのない不合理な差別だという正しい理解が浸透しつつあると考えられます。

かつて親や周囲の人からの情報には、差別を助長する間違ったものがあり、こういった情報は鵜呑みにせず、正しい知識を得ることが必要です。



問16

同和問題を解決するために、あなたはどのようなことが必要と思いますか。あてはまるものを2つ以内で選び、○を付けてください。(複数回答)(男女、年代別の比較)



自然になくなる(寝た子を起こすな論)割合が、年代に伴って高くなっています。特に70歳代以上では他の年代に比べて高く、解決への消極性がみられます。

市民が効果的だと考えている学校、地域連携での人権教育を進めるためには、20歳代～40歳代への啓発活動の充実を図らなければなりません。

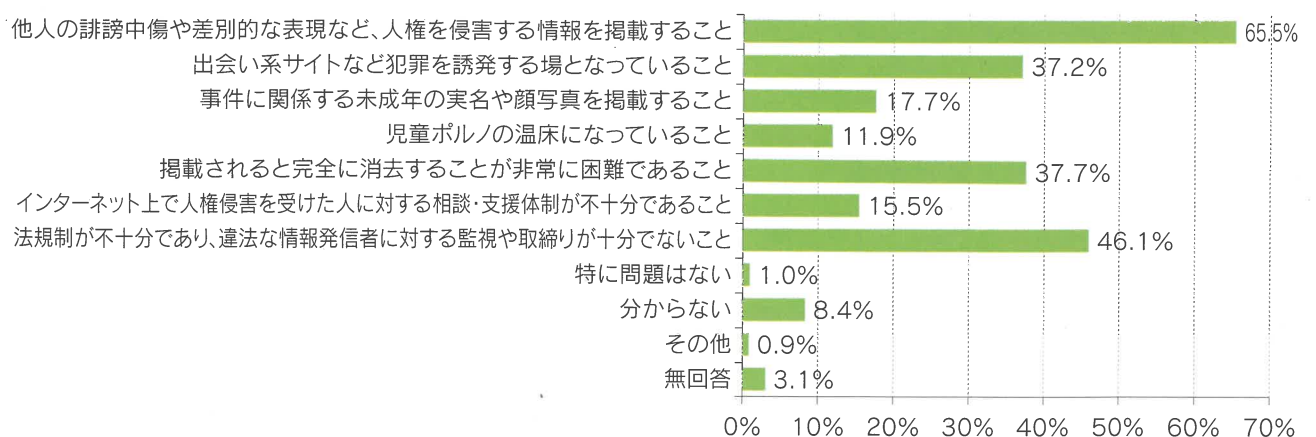
Q. 同和問題は、「そっとしておけば自然になくなりますか」?

- 1 今も差別に苦しむ人がいるにも関わらず、知らぬふりをすることができますか。
- 2 正しい知識がなければ、差別の現実に出会ったとき、正しい判断ができません。
- 3 部落差別解消推進法(H28.12月～)に反しています。
- 4 高度情報化社会において、差別の現実を知られないまま問題が風化していくことは考えられません。→「寝た子はネットで起こされる」

A. 「寝た子を正しく起こす」ことが解決への道です。

問17

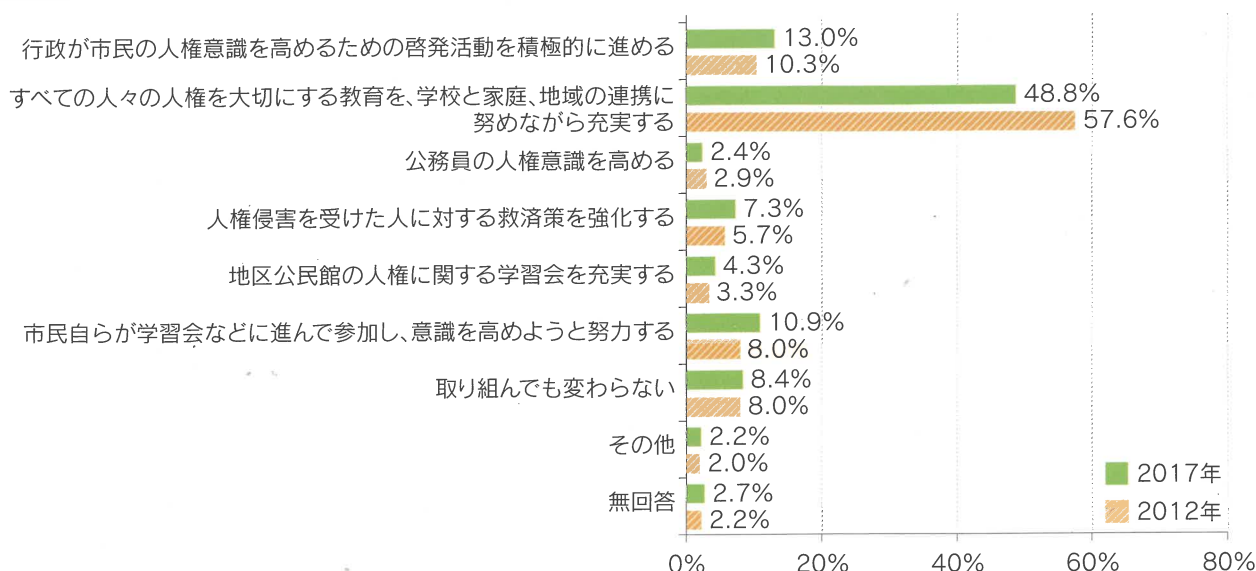
スマートフォン等、インターネットの利用に関して、あなたが人権尊重をする上で特に問題があると思うのは、どのようなことですか。あてはまるものを3つ以内で選び、○を付けてください。(複数回答)



インターネットの利用で、誹謗中傷、差別的な表現、犯罪を誘発する場等は、人権尊重上あってはならないことであり、情報モラル教育や監視・取締りなど、防犯への支援体制の充実が必要です。

問22

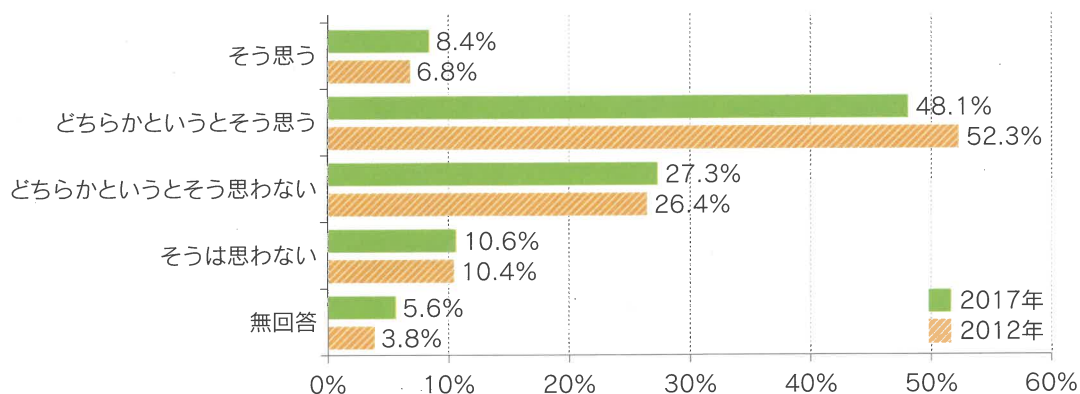
あなたは、人権が尊重される社会を実現するために、今後、特に必要なことばどのようなことだと思いますか。あてはまるものを1つ選び、○を付けてください。



人権尊重の教育を学校、家庭、地域の連携を求める人が多い傾向にあります。自ら進んで学ぶ姿勢は消極的傾向にあります。

問23

伊予市は人権が尊重されるまちになってきていると思いますか。あてはまるものを1つ選び、○を付けてください。



「そう思う」「どちらかというと思う」の肯定的評価の合計が過半数を超えており、人権が尊重されるまちづくりに対し、市民の支持を得ている現状が伺えます。別の分析では、30代を中心に若い世代に否定的な意見が高齢者の年代より高く、今後の啓発活動への課題です。30代前後の世代への啓発が必要です。

今回の市民意識調査結果から、人権を尊重し偏見・差別を許さない人が少しずつではありますが、確実に増えていることは大変喜ばしいことです。一方、偏見・差別意識のある人も依然としていることが分かります。偏見・差別をなくすためには、「①人権問題に関心を持ち個性を尊重すること」「②差別の現実に学び人権問題に対する正しい知識をもつこと」「③様々な人権問題について学び続けること」「④傍観者ではなく差別解消への主体者となること」が大切です。

今後も人権が尊重されるまちづくりをめざし、学校、家庭、地域が連携し、学校における人権・同和教育の充実（仲間づくり、授業改善・実践等）、地域住民の人権意識の向上（地区懇、オピニオンリーダー養成講座等の各種学習会の実施、子育て世代の学習機会の設定、内容の改善・工夫等）に努めます。皆様のご協力のほど、よろしくお願いいたします。